

第10回エコプレミアムクラブ シンポジウム

鳥瞰・Bird's-eye View

2013年8月1日

慶應義塾大学経済学部

細田衛士

What a wonderful world!

**I see trees of green, red roses, too
I see them bloom for me and you
And I think to myself, what a wonderful world
I see skies of blue, and clouds of white
The bright blessed day, the dark sacred night
And I think to myself, what a wonderful world**

(George David Weiss)

What a wrongful world!

I see trees of lean, dead roses, too
I see them grieve for me and you
And I think to myself, what a wrongful world
I see skies of gloom, and crowd of plight
The dread bluster day, the dark scared night
And I think to myself, what a wrongful world

(Eiji Hosoda)

このような大気のもとではまともに暮らせない！



経済格差が広がる一方で環境が悪くなる？

- 広がる富の不平等
- 貧困と栄養不良：世界の10億人が必要最低限の栄養がとれないでいる
- 子どもが栄養失調や下痢で死んでゆく
- その一方で年収数億円を超える人もいる
- 気候は大きく変動し、異常気象が続く
- 水の循環にも異常が出てきた
- 安全な水にアクセスできない人がたくさんいる

所得の格差

表 12-4 世界の所得分配の格差

	GDP (百万 US ドル)		1 人当たり GDP (US ドル)		
	高所得国 (a)	低所得国 (b)	高所得国 (c)	低所得国 (d)	比率 (c/d)
1980 年	7,836,000	565,000	10,705	267	40
1985 年	8,760,000	587,000	11,587	253	46
1990 年	16,316,290	915,520	19,590	350	56
1995 年	22,485,548	1,352,256	24,930	430	58
2000 年	24,772,147	1,078,946	27,433	439	63
2004 年	32,715,777	1,253,353	32,690	536	61

(出所) World Bank, *World Development Report*, various years.

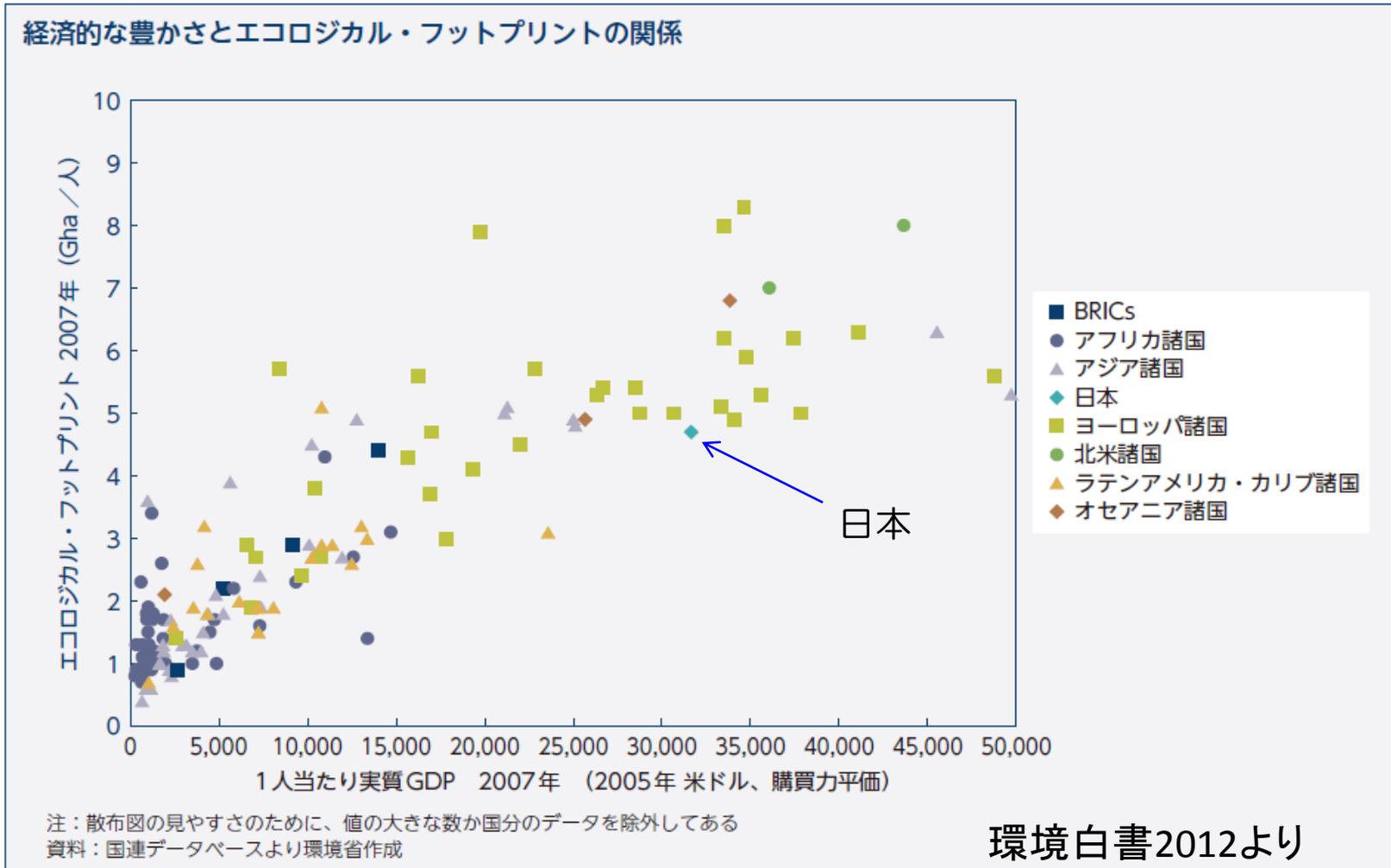
食の不平等

表 12-3 各国 1 人当たりの年間穀物消費量 (2003~2004 年)

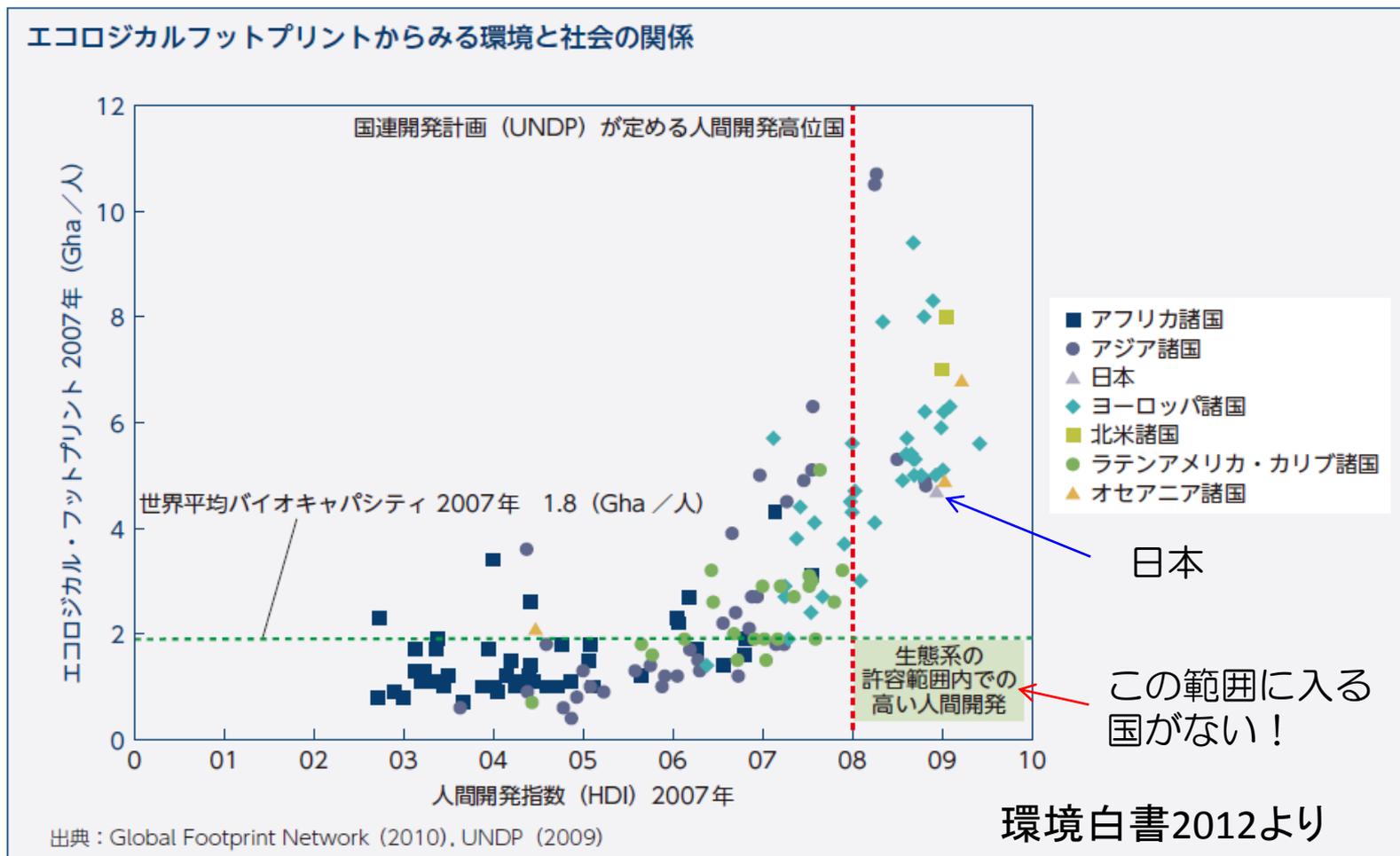
	1人当たり 穀物消費量(kg)
カナダ	1,025
アメリカ	795
EU25 各国	538
ロシア	469
サウジアラビア	411
エジプト	403
ルーマニア	385
メキシコ	372
ブラジル	343
中国	297
韓国	295
日本	274
南アフリカ	217
インドネシア	207
アルゼンチン	199
インド	186
世界平均	155

(出所) United States Department
of Agriculture [2006] *World
Markets and Trade 2005*.

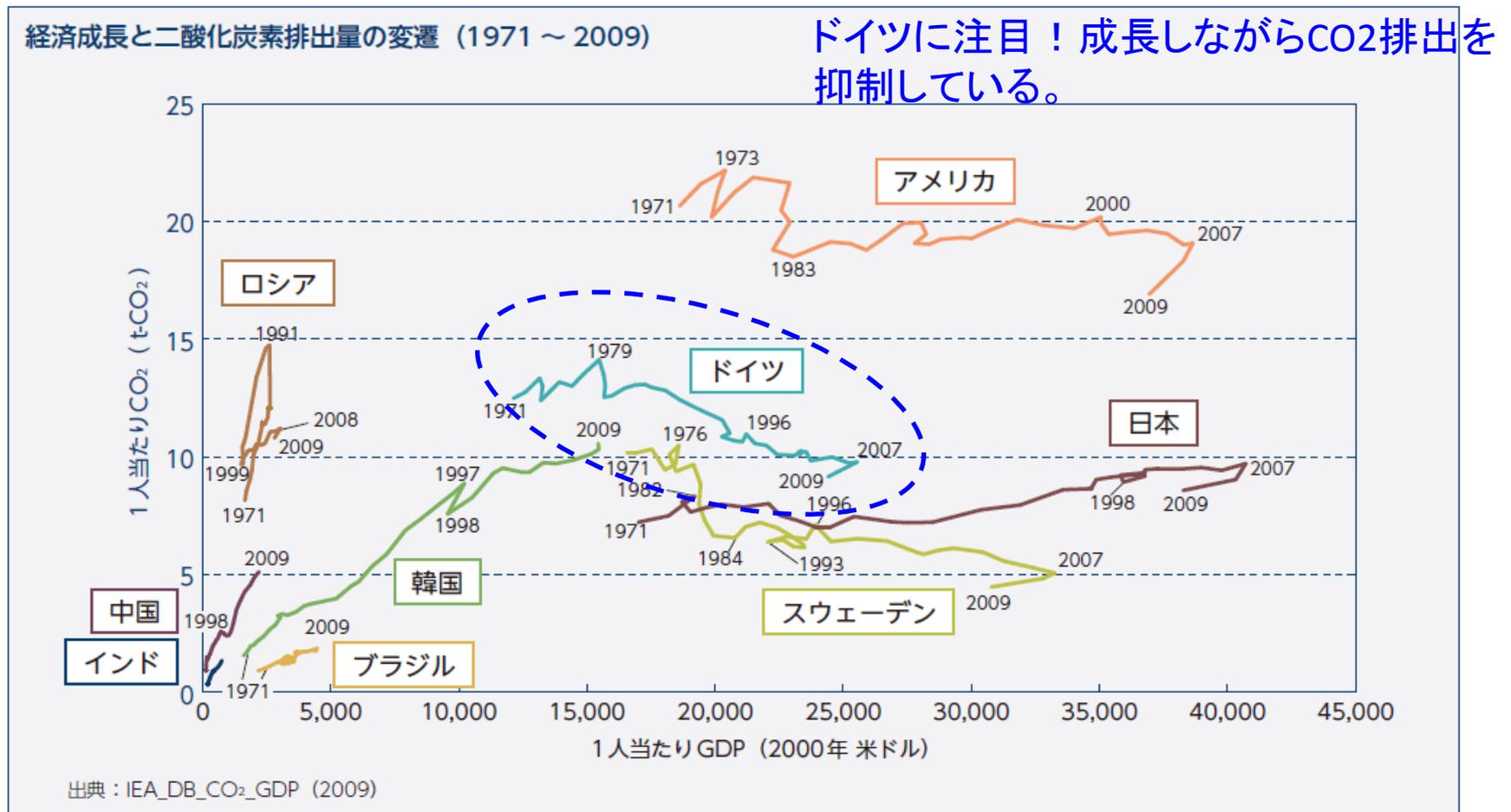
豊かさとは環境負荷の相関



環境と社会の関係



経済成長とCO2排出量との関係



何かがおかしい

- 今の経済は何かがおかしい
- 市場ベースの経済が重要なのは明らか
- だが、経済が暴走しているのではないか
- だとしたら暴走に歯止めをかけることが必要
- またとめどもない欲望が蔓延している
- 「共感」が薄くなってしまった
- 3.11直後の公共心はどこに行ったのか

「足るを知る」の経済

- 「足るを知る」 (sufficiency economy) の経済という発想が重要なのではないか
- 「行け行けどんどん」の経済ではもう環境は持たない
- それにそのような経済では格差が広がるばかり
- しかしその場合、どうやって経済を活性化させることができるのか？

オランダに学ぶ

- オランダは労働生産性が高い
- 一方でワークシェアリングをしている
- ワークシェアしない時と較べて給料は落ちたが、余暇が増えた
- 家族と過ごす時間が延び、皆が充実感を感じているという
- それでいて経済は活性化している
- 農業も元気だ（高付加価値型農業）

何ができるか（1）

- 3.11を思い出し、あのときの省エネモードに戻る
- 夏休みは最低でも2週間取る（本当は3週間と言いたいところだが…）
- 日本的なワークシェアの知恵を絞る
- 大都市近郊地域の住宅開発は止める
- 環境配慮設計を制度化すること

何ができるか (2)

- 既得権益に頼るのは止める：これが日本の活性化を阻害する
- 年収1億円以上の人の所得税の限界税率は60%以上でよろしい（現在40%）
- つまり極端な所得・富の格差は是正する
- 金融取引税を導入する：ほんのわずかな税率で良い
- オフショアマーケットの規制を強める：これは実質的にタックスヘイブン！

豊かさとは何か？

- 本当の豊かさとは年収10億円稼ぐことでもなく、ブランド物を持ち歩くことでもない
- 安全・安心で健康な生活を家族や友人と毎日送れること
- 「行け行けどんどん」「大きいことはいいことだ」的発想を止めること
- それでいて新たな付加価値を創造すること
- 結局ゆとりのある生活が豊かな生活なのではないか…